

1954年 (昭和29年)

国際収支の赤字とこれに対する引き締め政策を契機として、景気後退が続いた(29年不況)。当初、輸入金融中心として行われたため、ゴムをはじめ主要原材料の大半を輸入に仰いでいるゴム工業が蒙った影響は深刻であった。

本会の主要業務活動等

- 1月 輸出振興のため、本会内に「輸出委員会(第1次)」を設置
 - 〃 本会ゴム引布部会が、輸出化繊リンク製の適用品目としてゴム引布および同製品を加えることを陳情(4/28適用決定)
 - 〃 カーボンブラックの関税引き上げの取りやめを陳情(12月にも重ねて陳情)
- 4月 日銀および17都市銀行との懇談会を開催し、金融引き締めの緩和を要望
- 5月 第22回理事会で、不況事態克服のため生産の適正化と取引条件の改善を決議
 - 〃 IRSG第11回総会(コロンボ)に参加者を派遣
 - 〃 カーボンブラック需要者協会(需要9団体で構成)を結成
- 8月 ビルマ親善使節団との懇談会を開催
- 11月 本会内に「ゴム玩具部会」および「フォームラバー部会」を設置
 - 〃 通産省の軽工業品輸出会議ゴム製品部会(第1回)に参加

ゴム産業関連事項

- 1月 公正取引委員会がゴム履物の特売を不正取引に指定
- 7月 大阪ゴム工業会設立

政治・経済・社会情勢

- 1月 丸ノ内線営業開始(戦後初の地下鉄工事)
- 3月 MSA(日米相互防衛援助)協定調印
 - 〃 米、ビキニで水爆実験
- 4月 外国為替銀行法公布
 - 〃 ECAFE(国連アジア極東経済委員会)に加盟
- 5月 厚生年金法公布
- 6月 防衛庁設置法、自衛隊法公布
 - 〃 中小企業安定法改正法公布(6/1即日実施)
- 7月 インドシナ休戦、ジュネーブ協定調印
- 12月 第1次鳩山一郎内閣成立

参考データ	公定歩合の動き	GNP (名目/暦年)	四輪車生産台数	新ゴム消費量
	7兆8,290億円	70千台 前年比:40.0%	88千トン 前年比:1.9%